5　４の方策に係る収入及び支出に関する計画

（単位：億円）

項目	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算
営業収益	186	190	190	190	190	190	190
営業費用	201	197	192	186	189	189	188
一般会計からの任意補助金	23	18	15	14	14	15	15

6　各年度ごとの資金不足比率の見通し

（単位：%）

	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算
資金不足比率	59.7	52.5	50.2	45.7	39.4	29.4	20.1	13.4

佐賀県　佐賀市　自動車運送事業会計

1　資金不足比率が経営健全化基準以上となった要因
- 年間乗合輸送人員の減少による運賃収入の減少
- 佐賀市交通局経営改革プランに基づく繰出し基準以外の繰出金、補助金の削減
- 運転資金に係る資金調達方法の転換
- 運賃改定の延期

2　計画期間

平成21年度から平成25年度まで５年間

3　経営の健全化の基本方針
- 安全安心を第一に質の高い交通サービスの提供による利用者の増加
- 平成25年度までに資金不足比率20%未満を達成し、将来的に資金不足を解消

4　資金不足比率を経営健全化基準未満とするための方策
- 運賃改定の実施（平成23年度に平均７%値上げ、逸走率2.5%、自然減少率１%を見込む）
- 給与支給額の抑制（平成22年度５%、平成23年度４%、平成24年度以降３%のカット）
- 一般会計からの600百万円の繰入れ（特別利益）

5　４の方策に係る収入及び支出に関する計画

（単位：百万円）

項目	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算
料金収入	573	551	569	588	582	576
職員給与費	511	523	542	554	565	574
他会計繰入金			150	150	150	150

6　各年度ごとの資金不足比率の見通し

（単位：%）

	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算
資金不足比率	101.0	103.8	77.6	51.6	29.5	8.5

7　その他経営の健全化に必要な事項
- 毎年度、計画の進行状況について検証・評価を行い、市民に分かりやすく公表

熊本県　熊本市　交通事業会計

1　資金不足比率が経営健全化基準以上となった要因
- 利用者減等による収入の減少（利用者の減少）
- 運行コスト高（運賃収入を上回る人件費）
- 起債償還額の増加（車両購入や基地整備等のための多額の投資）

2　計画期間

平成21年度から平成27年度まで７年間

3　経営の健全化の基本方針
- バス路線の民間事業者への譲渡
- 利用促進による収入増加
- 高コスト体質の改善
- 経営基盤の強化

4　資金不足比率を経営健全化基準未満とするための方策
- バス事業の移譲（平成28年４月までに全路線移譲）
- 利用促進に向けた取り組み（電車事業は利用者数をH20年度比10%増加等）
- 職員削減、給与水準の見直し、経費の節減（給料カット、国給料表への切替え等）
- 資産の有効活用（未利用地やバス事業移譲による資産の売却等）
- 一般会計における支援の拡充（経営健全化補助、電車事業活性化補助の新設等）

5　４の方策に係る収入及び支出に関する計画

（単位：百万円）

項目	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算
料金収入	2,611	2,257	2,241	2,202	2,168	2,097	1,737	1,644
（電車のみ）	1,133	1,078	1,109	1,169	1,215	1,228	1,240	1,253
職員給与費	3,251	3,260	2,878	2,683	2,519	2,304	2,014	1,942
固定資産売却代金等	△24	526	405	80	71	591	300	1,760
他会計繰入金	1,494	1,864	1,939	1,736	1,597	1,482	1,396	1,397

6　各年度ごとの資金不足比率の見通し

（単位：%）

	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度決算	27年度決算
資金不足比率	198.2	206.2	182.1	171.1	156.8	117.9	104.8	4.7

7　その他経営の健全化に必要な事項
- 計画の進行管理
- 中間年における計画の総点検と見直し
- バスサービスの維持向上等に向けた行政の関わり